

みずほCustomer Desk Report 2019/03/29 号(As of 2019/03/28)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.35
TKY 9:00AM	110.51	1.1252	124.31	1.3155	0.7079
SYD-NY High	110.83	1.1261	124.42	1.3218	0.7106
SYD-NY Low	110.02	1.1214	123.65	1.3035	0.7063
NY 5:00 PM	110.67	1.1225	124.25	1.3042	0.7075
NY DOW	25,717.46	91.87	日本2年債	-0.1800	▲1.00bp
NASDAQ	7,669.17	25.79	日本10年債	-0.1000	▲3.00bp
S&P	2,815.44	10.07	米国2年債	2.2309	2.29bp
日経平均	21,033.76	▲344.97	米国5年債	2.2079	3.98bp
TOPIX	1,582.85	▲26.64	米国10年債	2.3902	1.05bp
シカゴ日経先物	21,170	▲35	独10年債	-0.0715	1.00bp
ロンドンFT	7,234.33	40.14	英10年債	0.9970	▲1.70bp
DAX	11,428.16	9.12	豪10年債	1.7280	▲4.15bp
ハンセン指数	28,775.21	46.96	USDJPY 1M Vol	6.40	0.47%
上海総合	2,994.94	▲27.78	USDJPY 3M Vol	6.61	0.26%
NY金	1,308.60	▲1.80	USDJPY 6M Vol	6.97	0.16%
WTI	59.31	▲0.10	USDJPY 1M 25RR	-1.38	Yen Call Over
CRB指数	183.33	▲0.62	EURJPY 3M Vol	7.96	0.09%
ドルインデックス	97.20	0.43	EURJPY 6M Vol	8.24	0.15%

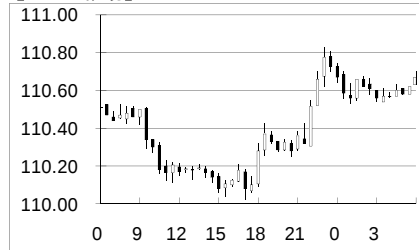
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月28日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	3月 -7.2	-7.2
	21:30	米 GDP(前期比年率)・3次速報	4Q 2.2%	2.3%
	21:30	米 個人消費・3次速報	4Q 2.5%	2.6%
	21:30	米 コアPCE(前期比)・3次速報	4Q 1.8%	1.7%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 211k	220k
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	3月 0.4%/1.3%	0.6%/1.5%

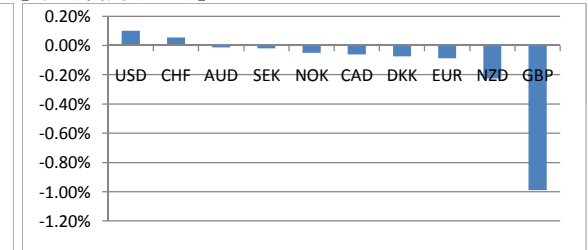
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月29日	08:30	日 失業率/有効求人倍率	2月 2.5%/1.63	2.5%/1.63
	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	3月 0.9%/1.1%/0.7%	0.6%/1.1%/0.7%
	18:30	英 GDP・確報(前期比/前年比)	4Q 0.2%/1.3%	0.2%/1.3%
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	3月 61.0	64.7
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 620k	607k
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド	3月 97.8	97.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-110.90	1.1180-1.1280	123.60-124.60

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場はブレグジットに関する8項目の示唆的投票がすべて否決されたことや、NBNZが予想外にハト派姿勢に転じたことから世界的な景気減速懸念が強まり、リスク回避姿勢の高まりからドル円は一時110.02まで下落する展開となったが、その後、米株式が堅調に推移したことや米金利が上昇したことによる対主要通貨でのドル高地合いを受け、110.83まで反発する展開となった。本日は週末日ということもあり、売り買い双方の需給に挟まれもみ合いの展開を予想。但し、海外時間には英議会で離脱案に対する3回目の投票が予定されており、その結果を受けた急激な円高の動きには注意したい。

東京	東京時間のドル円は110.51レベルでスタート。短期筋による日本株売りの影響を受けてドル円は売り優勢、新興国通貨の下落懸念など、リスク回避ムードの中で主要通貨に対して円が強含む展開となり、110.11まで下落。その後は下落が小休止も上値は重く、東京時間の安値110.04まで下押しした後、110.11レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.11レベルでオープン。前日から本日にかけて、ドラギECB総裁を含むECB高官から、利上げを遅らせる用意がある旨のハト派発言や、ECB預金金利の階層化など、副作用を和らげる緩和措置を検討しているとのヘッドラインが相次いだことによるユーロ売りがドル買いをサポート。110.54まで上昇し、110.35レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3190レベルでオープン。前日、英議会は法的拘束力を持たない複数の離脱代替案を採決。しかし、いずれも過半数の支持を得られず不透明感は拭えず、メイ首相は、自身の離脱案について3度目の採決を29日に行いたいとして、DUPとの交渉を継続しているものの進捗は見られず、下値を切り下げる展開。1.3102まで下落し、1.3122レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	世界的な景気減速懸念や、昨日のブレグジットに関する8つの示唆的投票で、すべて否決されたことからポンド円が下落する動きも手伝い、海外市場でドル円は110.02まで下落したが、ユーロドルが下落する動きを受けその後は下げ渋り、110.35レベルでNYオープン。朝方は、米第4四半期GDP(確定値)が予想を下回ったものの、コアPCEが予想を上回り、強弱混在の結果にドル円の反応は限定的となる。その後は外ロ・NEC委員長が「すべてではなく、いくつかの対中関税が残されるだろう」「米中協議は時間によって動かされるものではない」と発言したこと、株式市場が上昇する動きに、ドル円は110.83まで上昇する。10時に発表の米2月中古住宅販売仮契約が予想を下回り、前回分も下方修正され、堅調に推移していた株式市場も横ばいまで上げ幅を縮小する動きに、ドル円は110.53まで反落。午後は特段目立った材料が無い中、ドル円は狭いレンジでの推移が続き、110.67レベルでクロスした。一方、独3月CPIが弱めであったことから海外市場でユーロ売りが強まり、ユーロドルは1.1224まで下落し、1.1226レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎ3/11に付けた安値1.1222を下抜けし、1.1214まで下落する。その後はユーロ売りが一服し1.1238まで戻すものの上値は重く、午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1225レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨を申し出ください。

担当:光石・綱島